

市の鳥



カワラヒワ

# えびな

編集・発行  
海老名市役所広報広聴課  
〒243-04  
神奈川県海老名市勝瀬155  
☎ (0462) 31-2111



遠くで“祭”が  
聞こえる夏



7月31日、8月1日両日開催

会場は市役所周辺

## 第18回えびなふるさとまつり

今も心の奥底でほのかに輝いているあの日の思い出...。夕暮れまで遊んだかくれんば、カンカンと日の照る中の川遊び、朝顔の色水作り、麦わらのストローでシャボン玉、縁側でスイカを食べながら見た花火。あの夏の日を“えびなふるさとまつり”で再発見してみませんか。



## 第18回えびなふるさとまつりプログラム表

7月31日(土)		時間	8月1日(日)	
会場外			午後 1時	[ヤグラ周辺]
2:00	はやしパレード市内巡回		2時	[ヤグラ周辺]
2:00~	模擬店・展示・即売 福祉コーナー		3時	[ステージ周辺]
4:00	ピート棋オセロ・消防ゴーナー・大なわとび・体力測定・ミニSL・竹馬コマ		4時	はやし入場
8:00	アーチスト・ストリーマー・ターゲット・ターゲット		5時	みこし・はやし
	五星戦隊グレンジャー		6時	盆踊り
	五星戦隊グレンジャー		7時	盆踊り
	カラオケ大会		8時	盆踊り
	フラダンス・五星戦隊グレンジャー		9時	盆踊り
	花火大会		30	花火大会

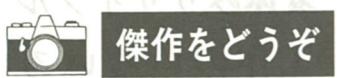
## 再発見



まつりの華。みこしも12基が参加

☆31日(土) 五星戦隊グレンジャー、1日(日) 特捜ロボ・ジャンバーソンは、終了後写真撮影ができます。

☆31日(土) カブトムシ配布: 午後5時より、アンケートに答えていたい方に抽選でさしあげます。

アマチュア写真  
コンクールにご応募を

「第18回えびなふるさとまつり」を題材とした写真を募集します。詳しくは次のとおり。

▶規格 カラー写真でキャビネ(12.5×17.5cm)判、1人10点以内▶応募方法 8月20日までに市役所広報広聴課に「えびなふるさとまつり実行委員会」事務局(〒243-04 藤原175)へ郵送または直接▶審査発表 9月中旬▶賞金 金賞3万円、銀賞2万円、銅賞1万円…以上各1点。佳作5千円…8点▶細則 ①応募作品の裏面にタイトル、住所、氏名、年齢、職業(会社、学校名)、電話番号を記入してください②入選作品の使用権は主催者に帰属します③入選通知があり次第ガガフィルムを提出してください。指定期間内にガガフィルムが未着の場合、入選を取り消すこともあります④応募作品は返却しません▶展示 入選作品は市役所1階ロビーに9月下旬から展示します。



正義の使者ダイレンジャー

子供たちが楽しめる催し物を多く用意しています。

●カブトムシの無料配布

ふるさとまつりのアンケートに答えてくれた人に、虫かみにふるさとまつりのビーロードへ入ったカブトムシ(雄蜂計2匹)を抽選で差し上げます。(31日午後5時から)

●テレビヒーローショー

「五星戦隊ダイレンジャー」(31日午後3時半～5時半の2回)と「特捜ロボ・ジャンバー」と「世界の平和を祈かる悪の軍団相手に大活躍のビーロード」(31日午後3時半～4時の2回)で、世界中の平和を祈かる悪の軍団相手に大活躍のビーロードへ入ったカブトムシ(雄蜂計2匹)を抽選で差し上げます。(31日午後5時から)

えびなふるさとまつりには、子供たちが楽しめる催し物を多く用意されています。

●ウォーターチューブ

「一日の夜、「みこし」や「はやし」が行われるやぐら周辺を楽しめます。

●レー・サー光線によるショー

「一日の夜、「みこし」や「はやし」が行われるやぐら周辺を楽しめます。

●ファーマーチューブ

「一日の夜、「みこし」や「はやし」が行われるやぐら周辺を楽しめます。

●牛乳パック回収

「テレホンカード」と「手ぬぐい」など、ふるさとまつりの回収品を差し上げます。

●牛乳パック回収

牛乳パックは必ず洗つて切り開いて束ねてお持ちください。

問い合わせは、美化衛生課(内385)へ。



ダイレンジヤー登場



ファーマーチューブ



牛乳パック回収



牛乳パック回収



牛乳パック回収



牛乳パック回収



牛乳パック回収



牛乳パック回収



牛乳パック回収



牛乳パック回収



牛乳パック回収



牛乳パック回収



牛乳パック回収



牛乳パック回収



牛乳パック回収



牛乳パック回収



牛乳パック回収



牛乳パック回収



牛乳パック回収



牛乳パック回収



牛乳パック回収



牛乳パック回収



牛乳パック回収



牛乳パック回収



牛乳パック回収



牛乳パック回収



牛乳パック回収



牛乳パック回収



牛乳パック回収



牛乳パック回収



牛乳パック回収



牛乳パック回収



牛乳パック回収



牛乳パック回収



牛乳パック回収



牛乳パック回収



牛乳パック回収



# 広報えびな

ゆとり社会を考える  
わたらせフォーラム93

男性と女性の社会の中での。在り方。について、事例を繰り交ぜながら話した。  
講演後、星野さんを交えての意見交換では、夫婦そろって働く家庭が増えているので「男性が家庭で主婦」という意識で「前より少ないのではないか。」などといった意見が活発に出て、参加者は、それそれに有意義な時間を作っていた。



## 練習の成果を披露

## ゲートボール大会

A black and white photograph capturing a moment during a golf tournament. In the center foreground, a golfer wearing a cap and a vest with the number 7 is bent over, focused on putting a golf ball into a hole. To the left, another golfer in a cap and vest with the number 2 stands with hands on hips, watching the shot. To the right, a golfer in a cap and vest with the number 3 is also watching. In the background, several spectators in hats and light-colored shirts are standing under a white tent. The ground is grassy and appears to be a golf course.

#### 萬國なホールさばきを披露

150人イモが掘り

門尺齋でふれあ、農業

「夕食はおイモがいっぱいのカレーライスよ」



夕食はジャガイモ料理に決定

育て僕らの苗！

門沢橋小で児童が田植え

育て僕らの苗！

門沢橋小で児童が田植え

六月二十八日、  
門沢橋小学校（加藤沙彌子校長、児童数41人）で、恒例の田植えが全校児童によつて行われた。同校では、われるもちつき大会で使われた。

「足がぬるぬるして気持ちが悪いかったけど、苗が元気に育つといいな」という思想を残して田植えは終了。このモチ子米は十一月に行なわれた。

前から近くの水田十ヶを借りて、モチ米を作っている。当日は、体操着に着がえした道童たちが水田に入り、約二十ヶの苗を次々に植えていた。中には水田の中で足を取られてしまひ、動きができないなくなった子や、オタマジャクシを見つけて喜んでいた子もいて、それぞれが貴重な体験をしたようだった。

「足がぬるぬるして気持ちが悪いかったけど、苗が元気に育つといいな」という思想を残して田植えは終了。このモチ子米は十一月に行なわれた。



『ゆとり社会』について講演する星野さん

海老名は県下に有数の米作地で、田植えの時期には広い田んぼが十日前後で青り変わつてしまつたが、それには「一株一株の手植えだつたので、田植えが始まる」と村中そぞつて、夜が明けるのを待つて田んぼへ出掛けた。主婦もまた朝早くから土手もとが見えなくなるまで、水苗代の苗取りをした。

A black and white illustration showing a person from the side, wearing a large, wide-brimmed conical hat and a dark vest over a patterned shirt. The person is kneeling in a field with several small, circular plots of land. They appear to be working with small plants or seedlings in one of the plots. In the background, there are more plots and some distant figures.

こうした事実を言つたのだろう。  
三食昼寝付きで、育児ノイローゼなどといふ時代とは、生活環境も考え方も全く違つた時代だったのです。ある。田植え上がり

になるというので、大抵棺ともに埋めたが、貝殻は腐らないで何年たってもそのままである。土葬だったところでは墓穴を大きく掘ったから古い墓穴と重なることがあり、相の般がまとめて出ることもある。あつたが、いずれも悲しみの涙とともに埋められたものだろう。

日露戦争の折り泣き蜆はぬくない呼び名だというの。吉川村長の提案で、吉川老翁名と呼ぶように改められたが、戦後蜆の絶滅とともに泣き蜆の由来を知る者もなくなった。湧くようにこれた海老名耕地の蜆も、今は全く姿を消してしまったが、後世のために語り伝えておきたい話である。

第306話

## 泣き蜆の由来

海老名むかしむかし

33-3838

電話で海老名の昔ばなしを聞けます。  
6月28日～7月19日 第139話 鬼祭り  
7月20日～8月9日 第140話 住職の窮屈を救った鶴鳥